

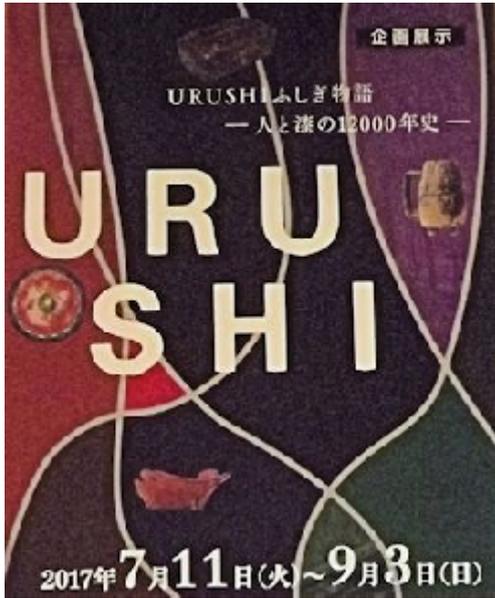
芸術ニュースは世界へ発信するワールド・ステージ

週刊 芸術新聞

発行：アグリーシステム 週刊芸術新聞編集部
 本社：千葉県茂原市渋谷1016-12
 メール：agree@green.ocn.jp
 agree-sys@excite.co.jp
 HP：http://weeklyart.seesaa.net/auth/article_preview/

おもしろ体験博物館 江戸民具街道

神奈川県足柄上郡中井町久所418
 開館時間：9：00～17：00
 休館日：月曜日
 問い合わせ：0465-81-5339
 HP：http://edomingu.com/



URUSHIふしぎ物語

「URUSHI」「ウルシ」「漆」 3種類の表現を使い分ける

国立歴史民俗博物館

現在国立歴史民俗博物館では「URUSHI 不思議物語」が開催されているが、たくさんさんの「ふしぎ」が隠されていることを知り、改めてURUSHIの凄さに驚嘆！

ふしぎを 沢山発見！

「漆に触れると」かぶれる」程度の認識をお持ちの方が多くはないでしょうか。取材に行った編集部もこの程度の軽い気持ちで臨んでいましたら、「ふしぎ」が沢山隠されていて「甘い気持ち」も吹き飛んでしまいました。まずエントランスにびつ



エントランスには、漆塗りの乗用車に度肝を抜かれる

くりしたのが、会場入り口には全面漆塗りの乗用車が出迎えてくれる。さらに第一展示場にすずめば「URUSHI」「ウルシ」「漆」の3種類の表現を使い分けて展示していた。植物の種類を表す時には「ウルシ」、人間の文化を表す時には「漆」を、両方を表す時にはローマ字の「URUSHI



次号は
7月27日発行

◆7月11日(火)～9月3日(日)
 国立歴史民俗博物館
 (千葉県佐倉市城内町117)
 TEL 03-5777-7777
 8600(ハローダイヤル)
 一般830円 高校生・大学生450円 小中学生無料
 月曜日休館、ただし8月14日(月)は開館

「漆」が使われている。URUSHI(ウルシ・漆)は、中国や日本でも自生したり栽培されているウルシ科の植物で、樹液を塗料などに使う東アジアの文化で、また日本の伝統工芸の一つでもある。



■諸橋近代美術館
 (福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰1093番23) 一般・大学生950円、高校生500円、小・中学生200円生*毎週土曜日、小・中学生は無料
 電話0241(37)1088

版画でみる20世紀展
 ピカソからウォーホルまで
 開催中！

■MOA美術館(静岡県熱海市桃山町26) 電話0557(84)2511 一般1600円、高校生800円、中学生以下無料、65歳以上1200円木曜日休(祝日は開館)
 JR熱海駅下車/バス4番のりばMOA美術館行8分

熱海湾を一望でき、眺望ナンバーワンの美術館

静岡市立
芹沢銈介
美術館

のれん

芹沢銈介の原点



芹沢は
男仕事と
して好む

芹沢銈介は常々「染物の中で男らしい仕事、終始のびのびと働ける『のれん』の仕事が好き」と残していた。

●文字

芹沢は多くの文字作品を制作した。文字を躍動感のある模様として表現したものや、文字と



道雑物を組み合わせたもの等、個性的な作品が多い。

●自然

自然を深く観察し、常にスケッチを欠かせなかった芹沢。自然をモチーフとした芹沢の文様は、どれも日々のスケッチに裏打ちされ、生き生きとしている。

●アイデア

のれんの中にのれんを表現したり、のれんの分け目を朝顔のツルに見立てたり、アイデアがあふれている。

●手仕事

芹沢が愛した手仕事。染色・陶芸・織物等、実際に足を運び、目にした手仕事の現場が斬新な型染で表現

されている。



メモ

◆7月15日(土) ~ 11月26日(日)

静岡市立芹沢銈介美術館
(静岡市駿河区登呂5-10)
5登呂公園内) TEL 054-282-5522
一般420円 高校生・大学生250円 小学生・中学生100円 毎週月曜日休館(7/17、9/18)、10/9を除く) 7/18、9/19、10/10、11/24

庭園ゾーン
書院ゾーン
体験ゾーン
展示ゾーン

■北九州市立小倉城庭園(北九州市小倉北区城内1-2) 電話093(582)2747 会期中無休

着物、帯、のれん、屏風、額絵、絵本など多岐にわたる

■静岡市立芹沢銈介美術館(静岡市駿河区登呂5-10) 電話054(282)5522
一般420円 高大生250円 月曜日休館

日本の歴史・文化の流れの中から論点を絞ったテーマを選んでの展示

■国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市城内町1-17) 電話03(5777)8600ハローダイヤル 一般420円、高校・大学生250円、中学生以下無料 月曜日休館

ものづくり・匠の技の祭典2017

日本全国の伝統と匠の技が見られる、ものづくりを体験できる3日間



東京都は、伝統と革新をテーマに日本を支えてきた伝統的な匠の技と最先端のものづくり技術の魅力を発信

する「ものdふくり・匠の技の祭典2017」を、8月9日(水)・10(木)・11日(金・祝)の3日間、東京国際フォーラムで開催される。本祭典は、各地から集まった日本のものづくりの伝統を継ぐ約80団体が、「衣」「食」「住」「工」お

メモ

◆8月9日(水)・10日(木)・11日(金・祝)

東京国際フォーラム<メイン会場>ホールE<地下2階>・<全国ブース>ロビーギャラリー(地下1階)
(東京都千代田区丸の内3-5-1) 入場無料

予告 夏休みのキッズデー!

2017. **7.31** (月) **開催決定**

BOSTON
ボストン美術館の至宝展
東西の名品、珠玉のコレクション

夏休みは東京都美術館「ボストン美術館の至宝展」でキッズデーを開催します! 一般の観覧様には休館日となる7月31日(月)が、中学生以下のお子様と保護者だけの鑑賞できる特別な一日に。詳しくは、東京都美術館、ボストン美術館のホームページをご覧ください。



中学生以下の生徒たちと保護者

夏休みは東京都美術館「ボストン美術館の至宝展」でキッズデーが開催される。一般客は休室日となることから、中学生以下の生徒たちと保護者だけが鑑賞できる特別な一日

夏休みのキッズデー!

7月31日(月) 開催決定

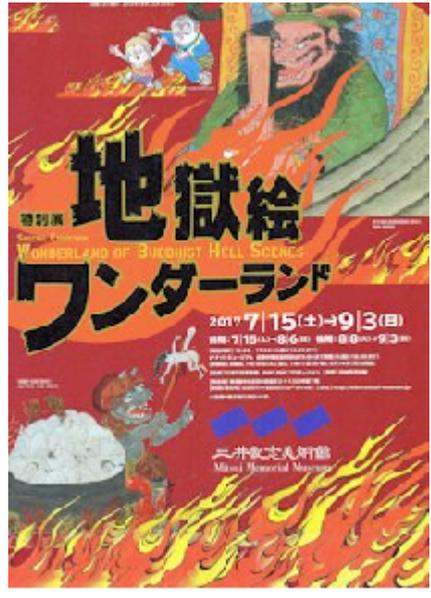
<http://boston2017-18.jp>

古代エジプト、日本美術、中国美術、フランス絵画、現代絵画などボストン美術館の幅広いコレクションからえりすぐった80点を楽しめる。

キッズデーの開室時間等は展覧会公式サイトで発表される。

最後に憧れの極楽へと誘う

特別展 **地獄絵ワンダーランド**



三井記念美術館
会場入り口は、水木しげるの絵本『水木少年とこのんばあ』の地獄めぐりの



原画で八大地獄をめぐるところから始まり、第1章「ようこそ地獄の世界へ」と第2章「地獄の構成メンバー」で、リアルな地獄の世界へと案内している。第3章「ひるがる地獄のイメージ」と第4章「地獄絵ワンダーランド」では、地獄のイメージの日本的展開と、特に近世になって描かれた、どこか楽しく笑える民衆的な地獄絵などを紹介し、最後に

前後上下左右 全てを描いた

院展を中心に活躍した松本哲男(1943~2012)は、画家自身が語る「三百六十度の世界」、すなわ

憧れの極楽へと誘う。

メモ

◆ 7月15日 (土) ~ 9月3日 (日)

三井記念美術館 (東京都

三百六十度の世界 松本哲男展

茨城県天心記念五浦美術館

ち、自らを取り囲む、前後上下左右全てを描き続けた日本画家、すなわち、自らを取り囲む、前後上下左右、全てを描いたスケールの大きな作品で知られる。

本展では、初期の那須の

長年の職人と一緒に

夏休みはかまぼこ博物館へ

かまぼこ・ちくわ手づくり体験 (水曜日以外)

かまぼこ・ちくわづくりにチャレンジしよう。焼きたてアツアツのちくわを召し上がれます。長年の修行を積んだ職人と一緒に、手づくり体験。職人の技を見ていただいた後、魚のすりを板や棒に付けて、かまぼこちくわをつくります。自分だけのオリジナルかまぼこが作れます。

電話予約 0465 246262 鈴鹿かまぼこの里 (神奈川県小田原市風祭245)

メモ

◆ 7月15日 (土) ~ 8月27日 (日)

茨城県天心記念五浦美術館 (茨城県北茨城市大津町椿2083) 0293465311 一般620円 高大生410円 小中生200円 月曜日休館(ただし7月17日(月)8月14日(月)は開館、7月18日(火)は休館)

風景から、アジアの風景、世界遺産や世界三大瀑布、晩年の古代文明まで国内外の雄大な自然や遺跡を描いた日本画38点及び関連素描を紹介。

特集

2017年NHK大河ドラマ おんな城主 直虎 戦国！井伊直虎から直政へ

江戸東京博物館 1階特別展示室



2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」

貴重な美術品・古文書で探る

戦国時代、男の名で家督を継いだ、「おんな城主」井伊直虎の波瀾に満ちた生涯を軸に、駿河の今川、甲斐の武田、尾張の織田、三河の徳川と大國に囲まれた遠江の領主・井伊氏が、繰り返される謀略や戦い、乱世を生きた戦国武將。



PRに努める女優・柴咲コウ

（主演・柴咲コウ）が急上昇中。
戦国時代、男の名で家督を継いだ、「おんな城主」井伊直虎の波瀾に満ちた生涯を軸に、駿河の今川、甲斐の武田、尾張の織田、そ



して三河の徳川と大國に囲まれた遠江の領主・井伊氏が、繰り返される謀略や戦いの中でどのようにならぬを生きたのか、同時代に生きた戦国武將や周辺の人物を通して浮き彫りにする。
また、直虎に養育され、徳川家康の家臣となった井



伊直政は、小谷の領主として、
2章 遠江の雄 井伊
3章 徳川家康と四天王
4章 遠江から近江へ
直政、彦根藩創設への道程？

牧・長久手の戦いや関ヶ原の戦いなどで武功をあげ、のちに「徳川四天王」と称されるほど、家康の重要な役割を果たしました。直政の彦根藩井伊家創設に至る道程を、井伊家に受け継がれた貴重な美術品・古文書などから紹介。

●展示構成
1章 動乱を超えて 東海の戦国大名と井

メモ

◆ 7月4日
(火) ～ 8月6日(日)

江戸東京博物館 1階特別展示室（東京都墨田区横網1-4-1） TEL 03-6226-9974（代表）
一般1350円 大学生・専門学校生1080円 高校生・65歳以上680円

7月10(月)、18日(火)、24日(月)、31日(月) 休館

2017年8月30日までの主な展覧会情報

美術館・博物館ガイド

東京都内

●上野の森美術館 「書だ!石川九揚展」 7月30日まで ㊦03 3833
4191 一般1000円
月曜日休館

●江戸東京博物館 「戦国!井伊直虎から直政へ」 8月6日まで ㊦03 3626 9974 一般600円 火曜日休館

●東京都写真美術館 「世界報道写真展」 8月6日まで ㊦03 3280 0099 一般1350円 月曜日休館

●すみだ北斎美術館 「北斎×富士」 8月20日まで ㊦03 33400 8600 (ハローダイヤル) 一般1200円 月曜日休館

●山種美術館 「川端龍子 超ド級の日本画」 8月20日まで ㊦03 33400 8600 (ハローダイヤル) 一般1200円 月曜日休館

●太田記念美術館 「大江戸クルージング」 7月23日まで ㊦03 33400 8600 (ハローダイヤル) 一般700円 7月18日休館

●渋谷区立松濤美術館 「クエイ兄弟 ファンタム・ミュージアム」 7月23日まで ㊦03 3465 9421 一般1000円 7月18日休館

●泉屋博古館美術館 「名刀礼賛」 8月4日まで ㊦03 33400 8600 (ハローダイヤル) 一般800円 月曜日休館

●板橋区立美術館 「イタリア・ポロニヤ国際絵画展」 8月13日まで ㊦03 3977 1000 一般650円 月曜日休館

●五島美術館 「夏の優品展 料紙のよそおい」 7月30日まで ㊦03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

東京郊外

●静嘉堂文庫美術館 「珠玉の香合・香灯展」 8月13日まで ㊦03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

●町田市立国際版画美術館 「戦争・版に刻む記憶」 7月23日まで ㊦042 726 2771 一般600円 月曜日休館

●川崎市市民ミュージアム 「からくりトリックの世界」 8月20日まで ㊦044 754 4500 一般500円 月曜日休館

●鎌倉国宝館 「常磐山文庫名品展」 7月17日まで ㊦0467 220 753 一般400円 月曜日休館

●県立神奈川近代文学館 「生誕120年 宇野千

関東南部

代展」 7月17日まで ㊦045 622 666 一般400円 月曜日休館

●横浜市歴史博物館 「ハマっ子、三浦半島をゆく」 7月17日まで ㊦045 912 7777 一般600円 月曜日休館

●県立神奈川近代文学館 「生誕120年 宇野千代展」 7月17日まで ㊦045 622 666 一般400円 月曜日休館

●神奈川県立金沢文庫 「アンニョンハセヨ!元曉法師」 8月20日まで ㊦046 701 9069 一般600円 月曜日休館

●カスヤの森現代美術館 「田口和奈 w i e n f l u s s」 8月13日まで ㊦046 852 30 一般600円 月曜日休館

●MOA美術館 「美人画の系譜 江戸から近代まで」 7月18日まで ㊦0

関東北部

●千葉市美術館 「歿後60年 椿貞雄」 7月30日まで ㊦043 221 2311 一般1200円 7/3休館

●笠間日動美術館 「カノンヴァスの中の巨匠たち」 7月30日まで ㊦029 672 2160 一般1000円 月曜日休館

●茨城県立歴史館 「茨城の民俗学者・藤田稔のみた世界」 7月30日まで ㊦029 225 442 5 一般150円 月曜日休館

●足利市立美術館 「リアル(写真)のゆくえ」 7月30日まで ㊦0284 43 3131 一般700円 月曜日休館

●山梨県立美術館 「フジフィルム・フォトコレクション 私の一枚」 8月20日まで ㊦055 22 8332 一般1000円 月曜日休館

ルネ・ラリックの生涯と出会う

●箱根ラリック美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1) 電話0460(84)2255 一般1500円、大学生・高校生・シニア(65歳以上)1300円、中学生・小学生800円年中無休

からくり人形な関係資料多数展示中

●江戸民具街道(神奈川県足柄上郡中井町久所418) 電話0465(81)5339 月曜日休館

箱根の景観と自慢のスウィーツを染しめます

●箱根写真美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300 432) 電話0460(82)2717 火曜日休館 毎週土曜日は夕方5時まで営業

Art Topics



アートギャラリー
にふさわしい
小さなオリジナル雑貨が
集まります!

当ギャラ
リーも、14
年目を迎
え、店の半
分がアートの
雑貨コー
ナーへ。7
月1日より
話題の「
アート雑
貨」コー
ナーをオー
プン!
湘南在
住・ゆかり
のアーティ

湘南在住・ゆかりの アーティスト手作り品

ストたちが「手作り品」を
持ち寄って、他では買えな
い、カード・小物・置物・
アクセサリー実用品…。
きつとみつかるとお気に入り
のアート雑貨!

●参加予定作家

古知屋恵子、にーたか、
和田圭以、寺田しのぶ、樋
渡知子、加藤ゆみえ、はち
ぴー工房、細谷カズ、田中
康弘、湯浅誠、畠山晶、高
瀬美恵と仲間たち…他。



メモ
◆ Art Gallery
LOS PINOS & Cafe
(神奈川県藤沢市南
藤沢7-6-102) TEL
0466-26-2000
営業時間 10時30分〜18時
*日曜日は12時〜18時
火・水曜日休廊

「深海2017」に特別出品 南極に潜む伝説の巨大イカ・ ダイオウホウズキイカの腕



(左) 撮影されたダイオウホウズキイカの腕。写真の明暗と水深TTLは、標本をとらえるのに役立つと考えられている。
(右) 1901年に南極海で調査中のロシアの海軍調査船で捕獲されたダイオウホウズキイカ。Alexander Semak

鯨の胃から発見 された 貴重な標本

7月11日(火)より国立
科学博物館(東京・上野公
園)で開催されている特別
展「深海2017」の最深研
究でせまる「生命」と「地
球」で、大英自然史博物
館からダイオウホウズキイ
カの腕が特別出品される
(7月11日から10月1日ま
で展示される)。
ダイオウホウズキイカは
南極海周辺の深海に生息
し、体の大きさ、重量にお

会場には 南極の水も!

会場には南極の水も展示
される。南極海は栄養豊か
な海であり、海水の意外な
役割が注目されている。海
水には微小な動植物が取り
込まれていて、それらが海

いてもダイオウイカをも凌
ぐといわれている。捕獲さ
れることは非常に珍しく、
その生息は謎に包まれたま
ま、日本初公開はもろろん
のこと、イギリス国外に出
されるのも初。

水とともに広く南極海に運
ばれ、南極海の生態系をよ
り豊かにしている。そんな
海水も展示される。

メモ

◆ 7月11日(火)
〜10月1日(日)
国立科学博物館(東京都

LIXILが 第12回西洋美術振興財団賞 「文化振興賞」を受賞

このほど、株式会社LIXIL(東京都千代田区)は、公益財団法人西洋美術振興財団より、第12回西洋美術振興財団賞「文化振興賞」を受賞することが決まった。

「文化振興賞」は、西洋美術研究を促進し、学術的に優れた展覧会等の実現に貢献した団体等に授与されるもの。

このたびの受賞は、日本の近代化において、タイルやテラコッタなど、やきもの製品の製造を通して日本の建築や暮らしに新たな文化をもたらすことで建築文化の西洋化に貢献したなどが高く評価されたものといえる。

なお賞の贈呈は10月27日(金)、東京・上野精養軒で開催される顕彰式で行われることになっている。

台東区上野公園7-20	TEL 03-5777-8600
0(ハローダイヤル)	一般1600円 7/18(火)・9/4日(月)・11日(月)・19日(火) 休館日